



# リレー対談誕生秘話 ～根アカ伸び伸び元気よく～

本誌主幹

## 大中吉一

### 本誌名物対談が生んだ人脈

今回も古い話で恐縮ですが、本誌黎明期における目玉商品であった「隆元対談」を始めるにあたり細川隆元氏を1年がかりで口説いたのは以前お話しした通りです。細川氏のご縁で、ゴルフの手ほどきを受け、ゴルフとはなんぞやということをお金井カントリー倶楽部でじっくりと教えていただきました。

その後、本誌の最高顧問である伊藤忠商事元会長であり、第2次臨時行政調査会(土光臨調)の委員であった瀬島龍三氏に対談の後任をお願いしたのですが、経済団体連合会第4代会長であった土光敏夫会長のもとで参謀役として敏腕を振るい、「臨調の官房長官」と称され、最も多忙を極めていた時代であり、毎月の連載は無理であるとの御意向で、そこを何とかとお願いしましたら、「3回だけなら」ということでご登場いただくことができました。

1回目の対談相手はNHK国際局長の山室英男氏にご登場いただきました。当時はまだ国際情勢についての情報は希薄で、本誌に掲載された

対談内容は大変な評価をいただきました。

2回目は長嶋茂雄氏でした。巨人軍の監督を辞任されたばかりでその去就が日本中の注目を集めていた時期であり、本誌の記事は大きな注目を集めました。

そして3回目ですが、当時の臨調において参与であったウシオ電機株式会社社長の創業者である牛尾治朗氏にご登場いただきました。牛尾氏は同社の名誉相談役、取締役相談役、さらに経済同友会特別顧問(終身幹事)でしたが、瀬島龍三氏は

「大中君は関西出身でなかなか東京の人脈が広がらず苦労をしている。今回は君がゲストとなり対談をし、次回からは君がホスト役となり次のゲストを紹介する。それを繰り返すリレー形式で対談を続けたい」と言って牛尾氏を口説いたのです。

爾来50年以上に渡って、日頃なかなか出会う機会のない、素晴らしい芸術、文化、政界、財界など各界の名士の皆さんが登場する「リレー対談」が本誌の目玉記事であり続けているのは、読者諸兄諸姉ご存知の通りです。

この「リレー対談」の生みの親こそ、我が師匠である瀬島龍三氏だったのです。

### 根アカ伸び伸び元気よく

そうしたリレー対談による人脈の拡がりとともに、瀬島龍三氏を中心に本誌を取り巻く諸氏によるゴルフ会が誕生することになりました。

初期は瀬島龍三氏を囲み、イラン・ジャパン石油化学（IJPC）の八尋俊邦三井物産元社長、当時の石川島播磨重工業社長であり日本商工会議所の稲葉興作氏、さらに三井不動産元会長の坪井東氏、さらに住友銀行の副頭取からアサヒビール代表取締役社長になり次の社長となる樋口廣太郎氏とともにスーパードライの大ヒットを生んだ村井勉氏など錚々たる顔ぶれが並び、実に壮観でありました。余談ですが、スーパードライの「ドライビール」という新しいカテゴリーを作り出し、過半数という画期的なマーケットシェアの拡大に成功したサクセス・ストーリーは、ハーバード大学においてケーススタディとして取り上げられました。スーパードライがいまだに



いまだにヒット商品であり続けているアサヒスーパードライ

ヒット商品であり続けているのはご存知の通りです。

こうして始まったリレー対談を基盤としたゴルフ会の中で印象に残っているのが、アサヒビールの村井氏の持論である「根アカ伸び伸び元気よく」という言葉です。一橋大学の同期生でありバレーボール部の仲間でもあったIJPCの八尋氏とはとても仲が良く、おそらく村井氏の「根アカ伸び伸び元気よく」はIJPCでご苦労をされていた八尋氏にも元気がつけたことだろうと思います。さて、年に4回、神奈川県茅ヶ崎市の「スリーハンドレッドクラブ」、

同じ神奈川県にあるジャックニクラス設計の「清川カントリークラブ」、さらに「程ヶ谷カントリー倶楽部」、「相模カンツリー倶楽部」などの名門コースで開催されたコンペは実に壮観でありました。

特にユニークだったのは八尋氏で、自分が勝てない相手とは絶対にチョコレートを握らないという方で、勝つためのゴルフの大きな教訓をいただきましたが、残念ながら強敵に向かっていくのが好きな私は未だに実践できておりません。

このコンペの仲間であった坪井氏が健康管理のための日課であったスイミング中にホテルオークラで急逝されました。その葬儀の席上で弔辞を述べられた八尋氏は、「これで私のチョコレートが少し減ってしまっただ」というとんでもない言葉を述べられ、驚いたのを覚えています。しかしこれは八尋氏の坪井氏との仲の良さの現れであり、坪井氏の分まで、村井氏の言う通り「根アカ伸び伸び元気よく」生きてやるというメッセージだったのだらうと思います。ちなみに八尋氏は90歳を超えて天寿を全うされました。

八尋氏がIJPCで大変な苦勞の中、辣腕を振るい、三井物産を建て直したのはご承知の通りです。

こうしたユニークな面々が織り成すストーリーが私の交悠録の中にあることを私は嬉しく、そして誇りに思っております。

読者のみなさんも、コロナ禍ではありますが、人を選ばず、素晴らしきパートナーと、楽しいゴルフと週末をエンジョイされることをお祈りいたします。



ユニークな面々が交悠録の中にあることを嬉しく誇りに思う